

芝 生 用 殺 菌 剤

有効成分 物理化学的性状

商 品 名：ディスアームフロアブル
種 類：フルオキサストロビン水和剤
有効成分：
フルオキサストロビン……………40.3%
物理的・化学的性状：類白色水和性粘稠懸濁液体
その他成分の種類及び含有量：
水、界面活性剤等……………59.7%

安全性（製剤）

人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
急性経口毒性 ラット LD₅₀（♀）＞5000mg/kg
急性経皮毒性 ラット LD₅₀（♂♀）＞5000mg/kg
眼刺激性 刺激性なし
皮膚刺激性 軽度の刺激性
皮膚感作性 感作性なし
魚毒性等
使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。
散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、
空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

適用病害および使用方法

2023 年 9 月末現在

作物名	適用病害	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	総使用回数*
西洋芝 (ベントグラス)	葉腐病 (ブラウンパッチ) ピシウム病 赤焼病	1600 倍	0.2L/㎡	発病初期	6 回以内	散布	6 回以内
		800 倍	0.1L/㎡				
日本芝 (こうらいしば)	疑似葉腐病 (春はげ症)	4000 倍	0.5L/㎡	休眠期前			
日本芝	立枯病 (ゾイシアディクライン)			発病初期			
	葉腐病 (ラージパッチ)						
日本芝 西洋芝 (ベントグラス) (ブルーグラス)	フェアリーリング病	4000 倍	0.5L/㎡				
		1600 倍	0.2L/㎡				
		800 倍	0.1L/㎡				
西洋芝 (ベントグラス) (ライグラス) (ブルーグラス)	紅色雪腐病	4000 倍	0.5L/㎡	根雪前			
		1600 倍	0.2L/㎡				
		800 倍	0.1L/㎡				

作物名	使用目的	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	総使用回数*
西洋芝 （ベントグラス）	根長および根重の増加	4000 倍	0.5L/㎡	生育期	2 回以内	散布	6 回以内
		1600 倍	0.2L/㎡				
		800 倍	0.1L/㎡				

*フルオキサストロビンを含む農業の総使用回数

【効果・薬害等の注意】

- ・使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- ・使用前に容器をよく振ってください。
- ・耐性菌の出現を防ぐため、過度の連用をさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- ・根長及び根重の増加を目的として散布する場合、高温期の根が衰退する時期（6～7月）に合わせて使用してください。
- ・本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

【安全使用上の注意】

- ・本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- ・散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- ・周辺の桑葉にはかからないようにしてください（蚕毒）。
- ・公園等で使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

- ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器等は囲場等に放置せず、適切に処理してください。

低水量散布に対応

根長及び根重の増加 適用拡大

製品規格：250ml×4 本

®：アリスタ ライフサイエンス株の登録商標です。

(株)理研グリーン・パートナーショップ

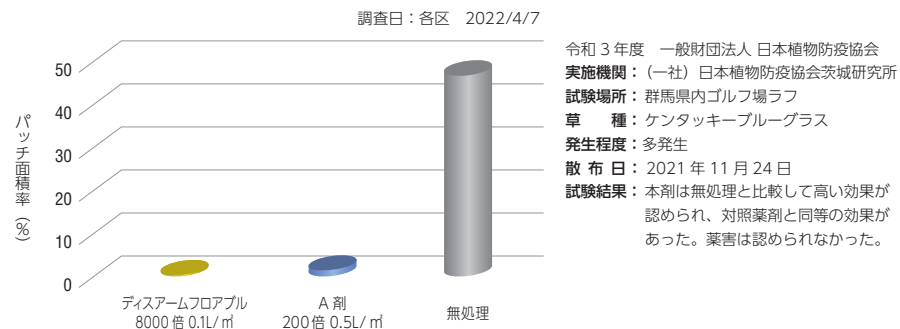
ディスアームフロアブルの特長

“ザイレムプロ” テクノロジー *ザイレム＝植物の木部。水分や養分を茎葉部に供給するための組織である「道管」が存在する。

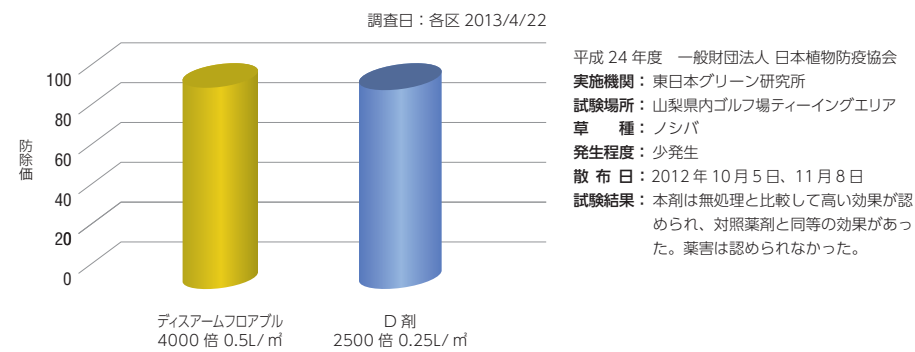
有効成分のひとつであるフルオキサストロビンは、* “ザイレムプロ” テクノロジー（Xylem Pro Technology）にもとづいた特徴的な側鎖及び活性基（ファーマコフォア）を有し、ストロビルリン系化合物の中でも速い浸達性（耐雨性）、浸透移行性、広い抗菌スペクトラムを示す優れた化合物です。



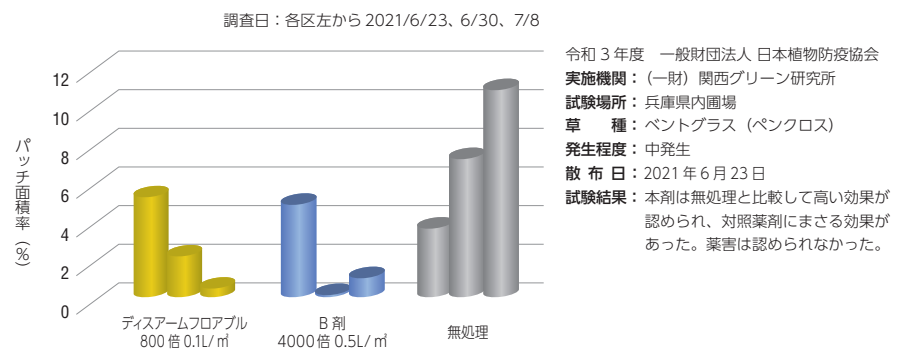
紅色雪腐病



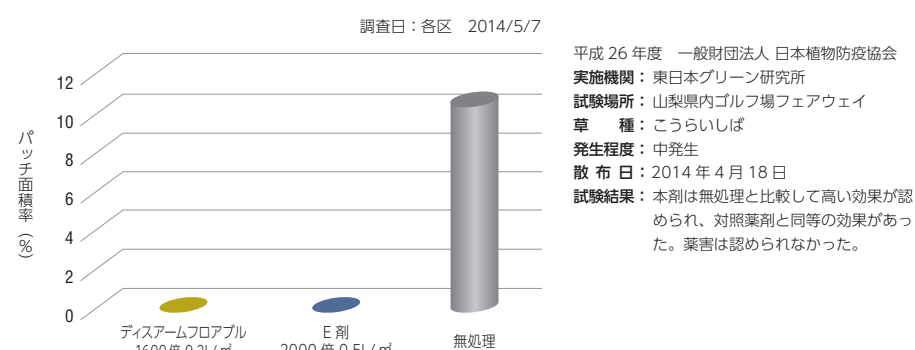
立枯病（ゾイシアデクライン）



葉腐病（ブラウンパッチ）



葉腐病（ラージパッチ）



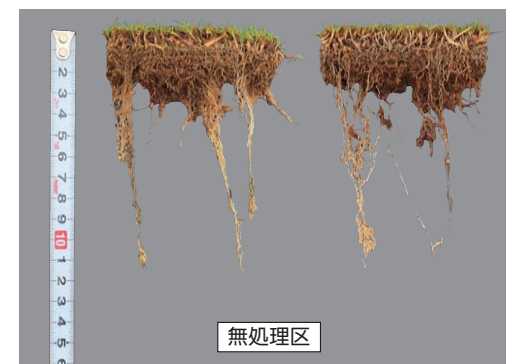
フェアリーリング病

供試薬剤名	希釈倍率 (倍)	希釈水量 (L/㎡)	区別	発病程度		
				7/2 調査 (処理前)	7/18 調査 (2 回目処理 14 日後)	8/1 調査 (2 回目処理 14 日後)
ディスアームフロアブル	1600	0.2	I 区	+	±	±
			II 区	±	—	—
			III 区	±	±	—
B 剤	2000	0.5	I 区	+	±	—
			II 区	+	±	±
			III 区	±	—	—
無処理	—	—	I 区	+	++	+
			II 区	+	+	++
			III 区	±	+	+

平成 30 年度 一般財団法人 日本植物防疫協会
実施機関：(一財) 西日本グリーン研究所
試験場所：熊本県内ゴルフ場ナースリー
草 種：ペントグラス（ペンクロス）
発生程度：中発生
散 布 日：2018 年 7 月 2 日、18 日（発生後散布）
試験結果：本剤は無処理と比較して高い効果が認められ、対照薬剤とほぼ同等の効果があつた。薬害は認められなかった。



根長及び根重の増加



(株) 理研グリーン社内試験
試験場所：千葉県内グリーン練習場
草 種：ペントグラス（ペンクロス）
散 布 日：2023 年 6 月 16 日
試験結果：根長・根重共に無処理区と比較して増加効果が認められた。

試験規模：1 区 2 ㎡、2 反復
処 理 量：1600 倍
水 量：0.2L/㎡
調 査 日：2023 年 7 月 13 日



※発病程度：+++ (明瞭) ~ ++ + ~ ± ~ - (なし) までの 5 段階で評価